

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立もみのき森林公園		
所在地	廿日市市吉和 1593-75		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	もみのき荘, 体育館, 研修棟, サイクリングロード, テニスコート, スキー場施設等		
指定管理者	4 期目	H28. 4. 1～H33. 3. 31	(一財) もみのき森林公園協会
	3 期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	(一財) もみのき森林公園協会 (H25. 4. 1～) (財) もみのき森林公園協会 (～H25. 3. 31)
	2 期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	(財) もみのき森林公園協会
	1 期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	(財) もみのき森林公園協会

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
		4 期	28	182,000 人	174,000 人	△3,300 人
3 期		27	196,000 人	177,300 人	1,300 人	△18,700 人 (90.5%)
		26	196,000 人	176,000 人	△18,800 人	△20,000 人 (89.8%)
		25	196,000 人	194,800 人	△200 人	△1,200 人 (99.4%)
		24	195,000 人	195,000 人	3,000 人	0 人 (100%)
		23	194,000 人	192,000 人	2,333 人	△2,000 人 (99.0%)
2 期平均		20～22	193,067 人	189,667 人	7,834 人	△3,400 人 (98.2%)
1 期平均		17～19	193,000 人	181,833 人	△11,967 人	—
		16 (導入前)	—	193,800 人	—	—
増減理由	野外施設の利用が減少し、目標値を下回った。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施 (利用者意見箱)	施設利用者 回答数 63 名
	インターネット口コミサイト	施設利用者 回答数 31 名
	【主な意見】	【その対応状況】
	自然が豊かで良い (ハイキング, 星空, 野鳥, 雪遊び等)	J R と連携したツアーの実施, ホームページを活用した日常の P R (新緑, 開花, 積雪, イベント等)
虫の発生, 草の繁茂	虫の発生源となる施設周辺含む草刈りの細やかな実施	
アスレチック施設が充実している (口コミサイトより)	次シーズンの利用者増に繋がると思われるため, 施設点検を徹底した	

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報 (必要随時)	○	園内発生事故報告
管理運営会議 (随時)	【特記事項等】 ・ 指定管理者連絡会議 ・ 安全対策協議 【指定管理者の意見】 ・ 施設修繕要望 【県の対応】 ・ 修繕要望の現地調査 ・ 破損施設 (老朽化遊具) の撤去, 冬季安全対策の現地調査		
現地調査 (随時)			

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	28	12,484		1,684	料金 収入 (決算額)	4期	28
3期		27	10,800	0	3期	27		39,035	4,050
		26	10,800	300		26		34,985	△8,462
		25	10,500	0		25		43,447	△973
		24	10,500	0		24		44,420	2,416
		23	10,500	80		23		42,004	△814
2期平均 20～22			10,420	△272	2期平均 20～22			42,818	△4,862
1期平均 17～19			10,692	△386	1期平均 17～19			47,680	456
16 (導入前)			11,078	—	16 (導入前)			47,224	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収 入	県委託料	12,484	10,800	1,684	施設管理費 維持管理業務の増に伴う増
		料金収入	44,148	39,035	5,113	利用料金制(※1) 宿泊利用の増
		その他収入	71,684	69,729	1,955	宿泊利用の増に伴う飲食収入の増
		計(A)	128,316	119,564	8,752	
	支 出	人件費	62,678	59,274	3,404	臨時職員の雇用に伴う増
		光熱水費	11,468	11,989	△521	長期割引契約による減
		設備等保守点検費	6,070	5,861	209	建築物定期点検の実施による増
		清掃・警備費等				
		施設維持修繕費	2,989	1,989	1,000	修繕工事の実施による増
		事務局費	1,095	1,270	△175	チラシ印刷費の減
その他		43,269	41,900	1,369	予約システム手数料の増	
計(B)	127,569	122,283	5,286			
	収支①(A-B)	747	△2,719	3,466		
自主事業 (※2)	収 入(C)	—	—			
	支 出(D)	—	—			
	収支②(C-D)	—	—			
合計収支(①+②)		747	△2,719	3,466		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び
指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	青少年を対象としたイベントを継続し、施設の設置目的に沿った環境学習の場を提供した。	環境を生かした野外活動イベント等、設置目的に沿った取組を行っている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	園地整備等により安全で親しみやすい公園管理に努めた。	自然を生かした園地整備や、地域食材を活用した食堂メニュー等、トータル面での公園の魅力づくりの工夫が見られる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	ホームページやFM放送への定期出演等による広報活動の充実やFacebookを活用したリアルタイムの情報発信を行い、利用促進を図った。	広報活動やリアルタイムの情報発信により、利用促進に努めているが、目標値は下回った。
	○施設の維持管理	事業計画に基づき適正な管理を実施した。	事業計画に基づき適切な維持管理を行っている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	平成 29 年 1 月に園内で発生した事故について、県への報告等対応が遅れたため、改善策を県へ報告した。	事故発生時に、県への報告等対応が迅速に行われなかった。緊急連絡体制も含め、安全対策の確実な履行が求められる。
	○効率的な業務運営	事業計画に基づく職員配置の他、繁忙期にはサービス維持のためパート職員を増員することにより対応した。また、職員間で連携を図り、効率的な業務運営に努めた。	経験豊富な職員によるOJTの実施や各種研修への参加等、人員が限られている体制の中であっても適正かつ効率的な管理に資するための取組みを行っている。
	○収支の適正	年間行事計画及び管理計画に基づき計画的な収支の管理に努めた。 上半期は宿泊客数の増により物販含め収入が増となったが、雨天時の利用者減がブレーキとなり大幅な収入増には繋がらなかった。	指定管理業務について、指定管理委託料の範囲内で適正に実施している。 天候不順を念頭に置き、収支計画を立てる必要がある。
総括		継続的な広報活動やイベントの誘致等が団体利用増等に繋がっているものの、雨天時の利用者減がブレーキとなり大幅な収入増には繋がらなかった。	事故発生時の県への報告等対応が遅れた。 団体利用促進により宿泊が増になるなど広報活動に努めているが、野外施設等で利用が十分にされていないものも見受けられ、全体の利用者数が目標を下回った。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成 29 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の老朽化に起因した問題が頻発している。管理業務上で対応できない事案については改修の提案を行う。 ○ 事故再発防止に向けた安全対策とともに、職員への安全教育の確実な実施など、事故発生時の体制整備の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ シーズン前に安全対策を確認するとともに、指定管理者から提出された改善策が確実に実施されているか、確認を行う。 ○ 指定管理者と連携し、自主事業により利用者呼び込むこと及び施設内の回遊を工夫し自転車等を含めた利用の増により、施設全体の目標達成を目指す。
中期的な対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の故障等に伴う業務への支障や、ソフト面での対応業務のウエイトが高くなることが想定されることから、計画的な改修が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の全面的なチェックに基づき、必要性や優先順位、今後の管理方針等と併せて更新計画を立てる必要がある点を踏まえ管理者へのヒアリング等を進める。